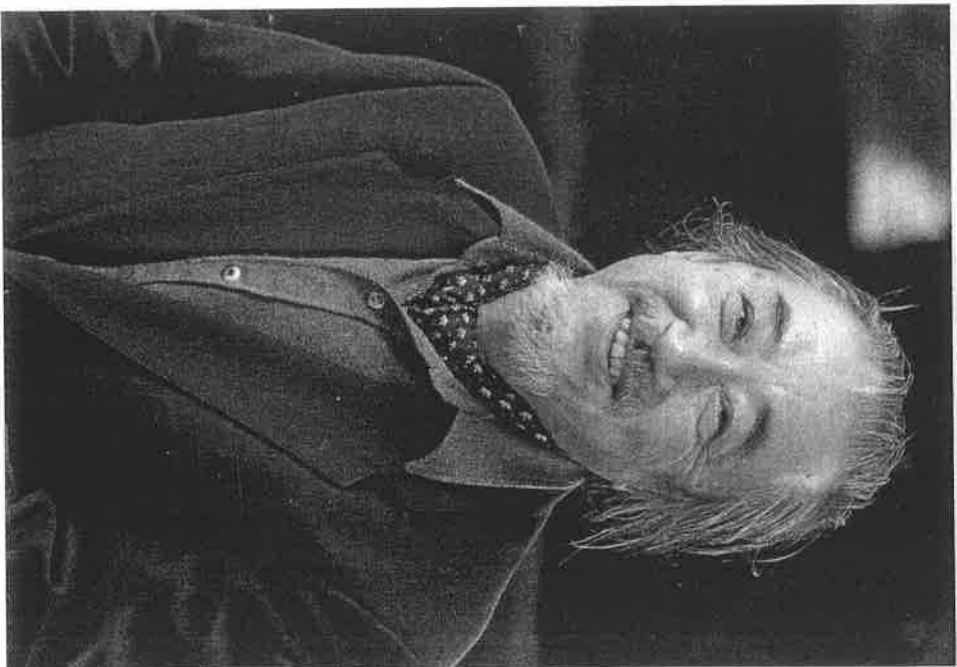


宮崎珠太郎



概要

氏名 宮崎珠太郎 (みやざき しゅたろう)

職業 業 所 伝統工芸者 (竹工芸)

住 所 鹿本郡菊鹿町大字上内田 1 1 1 6

主な活動地 菊鹿町

(特別賞)

宮崎珠太郎氏は、少年時代から竹細工を学び、昭和二十八年に上京、通産省工業技術院産業工芸試験所に入り、雑貨意匠竹工技術研究生として修練を積んだ。その後、昭和三十年の生活工芸展入選に始まり、昭和三十二年には日展第四科に入選、以て、日展には八回入選したほか、昭和四十九年に日本クラフトデザイナー協会74クラフト展金賞、また平成五年には国内デザイナー界最高賞のひとつである国井喜太郎産業工芸賞を受賞するなど各種工芸展等において数多くの賞を受賞した。

昭和六十三年には作品「あかりのかご」が、東京国立近代美術館に買い上げられるなど、作品の数々は全国で高い評価を受けている。

長年、大分県の産業工芸試験所において後進の育成に当たっていたが、平成三年の退職を機に帰郷し、菊鹿町に「AVVくらふと」を設立、竹の伐り出しから一貫して一人で行うスタイルでの作品づくりを続けている。

現在、日本クラフトデザイナー協会理事や九州クラフトデザイナー協会理事長を務める等精力的に活動し、工芸界の発展と後進の育成にも力を注いでいる。

県内においては、「くらしの工芸展」や県民文化祭の「熊本クラフトフェアバル」の審査員を務めるなど、県工芸界のリーダーとして活躍、県工芸の発展に尽力、貢献しており、今後ともますますの活躍が期待されている。

## これまでの活動歴

昭和二十五年 (一九五〇年) 熊本県立人吉職業補導所竹工科卒業

昭和二十八年 (一九五三年) 通産省工業技術院産業工芸試験所、雑貨意匠竹工技術研究生修了

昭和三十年 (一九五五年) 生活工芸展入選

昭和三十二年 (一九五七年) 日本美術展覧会第四科工芸美術『ははたく』入選  
以後同展入選八回

昭和三十六年 (一九六一年) 現代美術工芸展『激流』入選  
以後同展入選三回

昭和四十年 (一九六五年) 今日クラフト展『展開竹大皿』金賞受賞  
以後同展入選四回

昭和四十二年 (一九六七年) 大分県別府産業工芸試験所勤務 主任研究員

昭和四十九年 (一九七四年) 日本クラフトデザイナー協会74クラフト展『部屋のかご』金賞受賞

昭和五十年 (一九七五年) 九州クラフトデザイナー協会理事長就任

昭和六十年 (一九八五年) 東京国立近代美術館工芸館「竹の工芸―近代における展開」『あかりのかご 扱れた塔』出品  
大分県別府産業工芸試験所所長就任

昭和六十三年 (一九八八年) 東京国立近代美術館『あかりのかご 扱れた塔』収蔵のため作品買上げ

平成三年 (一九九一年) 大分県別府産業工芸試験所退職  
郷里菊鹿町において「AVVくらふと」設立

平成四年 (一九九二年) 第十九回国井喜太郎産業工芸賞受賞

平成七年 (一九九五年) 第三十三回九州クラフトデザイナー展『部屋のかご』グランプリ受賞

平成十二年 (二〇〇〇年) 東京国立近代美術館特別展「うつわをみる―暮らしに息づく工芸」出品

平成十四年 (二〇〇二年) 第二十五回信友社賞受賞